

新 サラリ一族が

かかりやすい病気の 症状と予防・治療法

連載

ピル解禁でコンドームを着用しないセックスが増え、性感染症（STD）が急増している。尖圭コンジロームもそのひとつ。セックスによってHPV（ヒトパピローマウイルス）の6型や11型に感染するものだが、潜伏期間が長いので要注意だ。

尖圭コンジローム

症状 カリフラワー状 9月、遅いと6カ月の潜伏期間がある。この間複数の相手と性交渉を持つとだれが感染源かはわからない。

HPVを持つた相手とセックスすると感染するが、症状が出るまでに平均して3カ月かかる。早くても1が陰茎、陰のう、肛門周囲

の粘膜や皮膚に発生する。口の両わき（口角）に出ることもある。

「イボの大きさは米粒大から親指の頭大くらいまでさまざま。カリフラワー状に盛り上がるケースも珍しくありません。初期にはひとつだけだったり小さくても、多発化したり肥大化したりします」（埼玉社会保険病院泌尿器科・石井泰憲部長）

陰茎の冠状溝（亀頭の付け根の溝）の周囲や包皮小体（包皮の付け根）のあたりに最も多く発生する。灰白色またはピンクがかった色をしている。

「小さなものは無症状です。女性の場合は外陰部、



経験豊富そうな相手とのSEXは避ける

が多く、がんと関係が深い16型や18型などが混在する可能性があるので、病理組織学的検査が行われる。

予防法 コンドームも万全ではない

「治療は液体窒素を使って病変部を凍結してしまう凍結療法が一般的です。局部麻酔して切除したり、電気やレーザーで焼き固める場合もあります。その後、再発防止のために、抗がん剤の5-FUの軟膏を塗りま

す。抗ウイルス作用のあるインターフェロンの注射を試みる医師もいます」（石井部長）

入院の必要がない簡単な治療なので、グズグズせず受診しよう。女性の場合のセックスを絶つことはいらうまでもない。

陰茎や陰のうに反白色のイボ。潜伏期間は1〜6カ月